

横断幕を掲げて支援を呼びかけると、次々と市民が募金していききました。マイクで訴えた各議員は、現地調査した被災地の状況を伝えながら、「毎年のよう

に被害にあっている住民の方は『心が折れる』と言っておられた。被災者を救援することが政治に求められている。ぜひ募金にご協力を」と訴えました。

避難所の体育館が雨漏り

実態把握、対策早急に

共産党3議員が質疑

京都市議会
教育福祉委員

11日に開かれた京都市議会教育福祉委員会で、学校内のブロック塀の安全確保などにつ



山本議員



玉本議員



くらた議員

いて審議し、日本共産党の玉本なるみ、山本陽子、くらた共子の3委員は、通学路のブロック塀について専門家による安全点検を実施す

るよう要求。併せて、西日本豪雨で避難所となった学校体育館で雨漏りが起こっていることを指摘して対策を急ぐよう求めました。

市教委は、大阪北部地震を受け、市立の165小学校の通学路のブロック塀について、教員が目視で緊急調査したところ、103校



避難所となっているにもかかわらず、雨漏りしていた上京区の京極小学校体育館 (6日)

計504カ所でひび割れや破損などが見つかったことを報告。また、60校の校内のブロック塀について改修などの緊急措置を取るとともに、建築士などの専門家による全校のブロック塀の詳細調査を夏休み期間中に集中して実施することを明らかにしました。

玉本委員は、専門家による全校調査を急ぐよう求めるとともに、山本委員は、長岡京市では、技術職員が全10小学校区の通学路のブロック塀を点検調査したことを挙げ、京都市内の全通学路についても専門家の調査を要求しました。

くらた委員は、西日本豪雨で避難所となった上京区の学校体育館7カ所を6日に調査したところ、京極小の体育館などで雨漏りがしていたことを挙げ、「市教委として実態を把握しているのか。避難所としても教育施設としても、安全面を危惧する」と述べ、対策を急ぐよう求めました。

侯野担当部長は「34カ所で雨漏りが発生しており、早急に修繕をしていく」と答えました。